

平成31年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第8号(11月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和元年10月31日発表: 沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○11月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		11月の発生量 (平年比)	10月からの増減	10月の発生量 (平年比)	その他(気象要因など)
カンショ	① ナカジロシタバ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	② イモキバガ	多	↘	多	平年の発生量の推移(↘)
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(↗)
	② メイチュウ類(イネヨトウ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(↗)
かんきつ(温州ミカン)	① かいよう病	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	② そうか病	多	→	多	平年の発生量の推移(→)
	③ アブラムシ類	やや多	→	多	平年の発生量の推移(↗) 新梢の発生量が減少するため
	④ ミカンハモグリガ	並	→	並	平年の発生量の推移(↗) 新梢の発生量が減少するため
	⑤ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
かんきつ(タンカン)	① かいよう病	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	② 黒点病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	③ そうか病	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	④ アブラムシ類	並~やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗) 新梢の発生量が減少するため
	⑤ ミカンハモグリガ	並~やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗) 新梢の発生量が減少するため
	⑥ ハダニ類	多	↗	多	平年の発生量の推移(↗) 今後1か月の気温が平年より高い見込み



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○11月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		11月の発生量 (平年比)	10月からの増 減	10月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
マン ゴ ー	① チャノキイロアザミウマ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
	③ ハダニ類	並～やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移（↓）
レ タ ス	① アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
ピー マン （ 施 設 ）	① モザイク病	並	↑	（発生なし）並	平年の発生量の推移（↑）
	② タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（↓） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ アブラムシ類	並	↑	（発生なし）並	平年の発生量の推移（↑） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	④ ハダニ類	並	↑	（発生なし）並	平年の発生量の推移（↑）
	⑤ ホコリダニ類	並	→	（発生なし）並	平年の発生量の推移（→）
ト マ ト （ 施 設 ）	① モザイク病	並	↑	（発生なし）並	平年の発生量の推移（↑）
	② コナジラミ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ アブラムシ類	並	↑	（発生なし）並	平年の発生量の推移（↑）
	④ ハモグリバエ類	やや多	↑	やや多	平年の発生量の推移（↑）



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○11月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		11月の発生量 (平年比)	10月からの増減	10月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
小 ギ ク （ 年 末 出 荷 用 ）	① 黒斑・褐斑病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	② アザミウマ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（↘） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	③ アブラムシ類	多	→	多	平年の発生量の推移（→） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	④ チョウ目幼虫	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	⑤ ハダニ類	並	↗	（発生なし）並	平年の発生量の推移（↗）

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さ と う き び	ツマジロクサヨトウ	伊平屋島の新植の夏植えほ場でツマジロクサヨトウが確認された。また、宮古島では定植から2か月以上経過したほ場でもツマジロクサヨトウが確認されている。定植時に散布した粒剤の効果が切れ始める時期でもあるため、農薬散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マ ン ゴ ー	ドクガ類	本島南部の病害虫防除員からの報告によると、一部ほ場で本種の発生が確認された。幼虫を見つけ次第捕殺する。 発生源となるハウス内・周辺の雑草を除去する。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 宮古群島 病害虫発生予報 第8号(11月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年10月31日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○11月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		11月の発生量 (平年比)	10月からの増減	10月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗） トラップ誘殺虫数の平年の発生量
	③ メイチュウ類 (イネヨトウ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移（↗） トラップ誘殺虫数が平年より多い
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↘	並	新梢の発生量が減少するため 平年の発生量の推移（↘）
	② マンゴーハフクレタマバエ	多	↘	多	新梢の発生量が減少するため 平年の発生量の推移（↘）
	③ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
かぼちゃ	① モザイク病	並	→	(発生なし)並	媒介虫(アブラムシ類)の発生量が平年より多い 平年の発生量の推移（→）
	② うどんこ病	並	↗	(発生なし)並	平年の発生量の推移（↗）
	③ 細菌病	多	↘	多	今後1か月の降水量が平年より少ない見込み 平年の発生量の推移（→）
	④ アブラムシ類	多	→	多	有翅虫の平年の発生量の推移（→） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	⑤ ハモグリバエ類	並～やや少	↗	少	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み
	⑥ タバココナジラミ	並～やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移（↗） 今後1か月の気温が平年より高い見込み

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	ツマジロクサヨトウ	宮古島、多良間島の新植の夏植えほ場でツマジロクサヨトウが確認された。定植後、2か月以上経過したほ場でもツマジロクサヨトウが確認された。定植時に散布した粒剤の効果が切れ始める時期でもあるため、農業散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。

● 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値

● 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

平成31年度 八重山群島 病害虫発生予報 第8号(11月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和元年10月31日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並が高い	平年並が少ない	平年並が多い

○11月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	予報		予報の根拠	
		11月の発生量 (平年比)	10月からの増減	10月の発生量 (平年比)	その他（気象要因など）
水 稲	① スクミリンゴガイ	-	-	並	
	② 斑点米カメムシ類	-	-	並	
	③ コブノメイガ	-	-	並	
さ と う き び	① メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ)	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② メイチュウ類（イネヨトウ）	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
マ ン ゴ ー	① チャノキイロアザミウマ	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移（↘）
	② マンゴーハフクレタマバエ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	③ ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
オ ク ラ	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	→	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み 平年の11月の発生量
	③ アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さ と う き び	ツマジロクサヨトウ	石垣島の新植の夏植えほ場でツマジロクサヨトウが確認された。また、宮古島では定植から2か月以上経過したほ場でもツマジロクサヨトウが確認されている。定植時に散布した粒剤の効果が切れ始める時期でもあるため、農薬散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。
 ●平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
 ●例年値：過去3～4年間の発生量の平均値
 ※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（11月2日～12月1日）

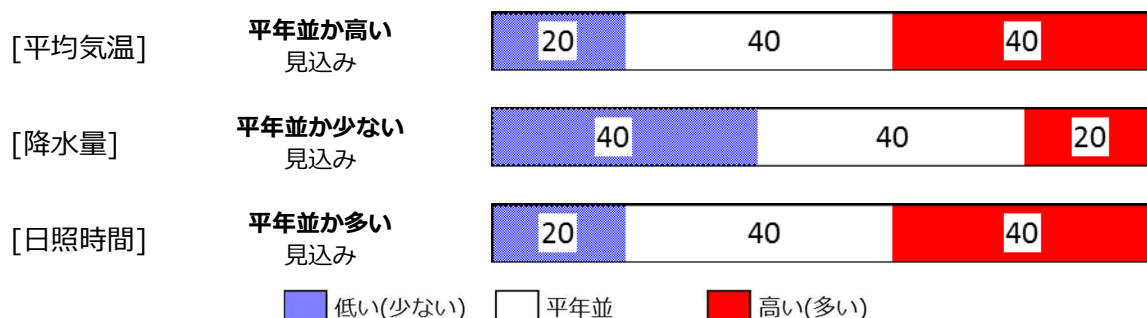
○ 気象予報のポイント

- 期間のはじめを中心に暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は平年並か高いでしょう。
- 湿った空気の影響を受けにくいいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

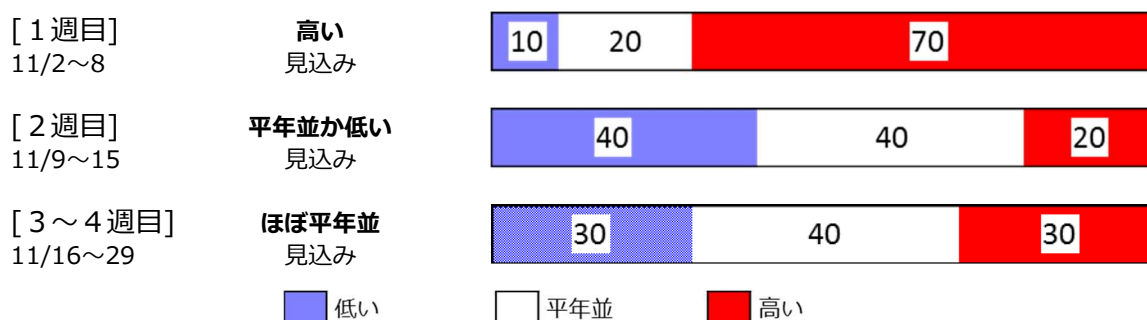


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.3～+0.5℃	平年比：78～115%	平年比：91～107%
那覇	21.7～22.7℃	67.9～125.1mm	102.3～124.6時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.5～+0.5℃	平年差：-0.4～+0.6℃	平年差：-0.2～+0.6℃
那覇	22.7～23.8℃	22.0～23.2℃	21.0～21.9℃

※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。

※ 平年並の範囲は、過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本 所	〒902-0072 那覇市字真地123 TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119
宮古駐在	〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内) TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474
八重山駐在	〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内) TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157